

平成 30 年度

全国学力・学習状況調査の  
結果について



海西中イメージキャラクター  
「カイチュウ」

平成 30 年 12 月  
海老名市立海西中学校

## 目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6

## 資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

### 【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

### 【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・小学校第6学年
  - ・中学校第3学年

## ◆ 調査内容

### (1) 教科に関する調査

#### 【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

#### 【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

### (2) 児童生徒に対する質問紙調査

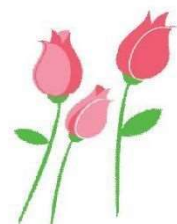
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

### (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成30年4月17日(火)



# 国語に関する調査結果

## 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域における、接続語の知識に優れています。  
設問 8 三キの、接続語を選択する力が、特に優れています。
- 「読むこと」の領域における、内容理解の能力に優れています。  
設問 3 二や 5 二で問われた、内容を読み取る力が、特に優れています。

《努力を要する所》

- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域における、語彙の知識に努力を要します。  
語彙に関する設問の正答率にばらつきがありました。

## 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 「話すこと・聞くこと」の領域における、質問をする・聞く能力に優れています。  
設問 2 二、2 一の正答率は約 9 割と、高い水準に達していました。
- 「読むこと」の領域における、複数の資料から情報を読み取る能力に優れています。  
設問 1 二の、複数の辞書から適切な意味を選択する力が、特に優れています。

《努力を要する所》

- 「話すこと・聞くこと」の領域における、発表をまとめる際の話の進め方に努力を要します。  
設問 2 三の正答率は、他の設問と比べて少し低くなっていました。

### これまでの取組から

- 説明的文章の論理構造について授業内で詳しく扱ってきたので、接続語の使い方などの知識は身につけてきていると考えられます。
- 自分の考えや調べたことを発表した回数が多いとは言えず、それが話の進め方について努力を要するという結果につながったと考えられます。

### 今後の具体的な取組について

- 話の流れを意識した発表を作ることができるように、適切な課題と指導について考えていきます。
- 語彙については、これまで取り組んできた、教科書に使われている単語の意味調べプリントに加え、日常的に語彙を増やすための取り組みとして、身近な文章から単語を集めるような課題を設定します。

# 数学に関する調査結果

## 数学 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 「数と式」の領域における、「**数学的な技能**」に優れています。  
特に設問の 3 (2) で問われた比例式の計算を正しく解くことをよく理解しています。
- 「関数」の領域における、「**知識・理解**」に優れています。  
設問の 11 (2) で問われた一次関数を正しく選択する力が、特に優れています。

《努力を要する所》

- 「図形」の領域における、「**知識・理解**」に努力を要します。  
特に設問の 8 で問われた対頂角が等しいことの証明についての誤答が多くみられました。
- 「関数」の領域における、「**数学的な技能**」に努力を要します。  
特に設問の 11 (1) の関数の増加量を求める問題について誤答が多くみられました。

## 数学 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 「数と式」の領域における、「**数学的な見方や考え方**」に優れています。  
設問の 2 (2) で問われたどんな整数を入れても計算結果が 4 の倍数になる証明を正しく解く力が、特に優れています。
- 「関数」の領域における、「**数学的な見方や考え方**」に優れています。  
設問の 3 (2) のようなグラフから正確に情報を読み取り、解釈することが、特に優れています。

《努力を要する所》

- 「資料の活用」の領域における、「**技能**」に努力を要します。  
与えられた情報から必要な情報を見つけ、処理する問題に誤答が多くみられました。

### これまでの取組から

- 習熟度別少人数授業を展開しています。子どもの学力に応じた課題に取り組ませることで知識・理解を主とした基礎学力の定着を図っています。
- 証明の問題では、何度も繰り返し学習をしたことで、筋道を立てた証明ができるようになってきていると考えます。

### 今後の具体的な取組について

- 関数については、独立した変数とそれに対応する変数を確認する場面を設け、関数の関係を正確に理解できるよう指導します。
- 資料の活用については、まず基礎的な知識の定着を目指します。中央値や度数分布等の定義や求め方を確認し、資料から読み取る活動を通して基礎・基本を指導します。

## 理科に関する調査結果

《優れている所》

○物理的領域の「科学的な思考・表現」の活用に優れています。

設問9(2)より、実験結果の原因を探究する場面において、他の要因を踏まえながら、異なる原因を思考する力が、特に優れています。

○化学的領域「科学的な思考・表現」の活用に優れています。

設問4(2)より、実験を計画する際に、「変えない条件」について、条件制御の知識・技能を活用して指摘する力が、特に優れています。

《努力を要する所》

○化学領域の「観察・実験の技能」に努力を要します。

設問2(2)より、水溶液の濃さに関する知識、問題解決の技能を活用する問題に誤答が多くみられました。

○地学領域の「自然事象についての知識理解」に努力を要します。

設問7(1)より、地震の揺れの伝わり方に関する知識の問題に誤答が多くみられました。

### これまでの取組から

- 身近な出来事を科学と関連付けて考えることができるよう、考え話し合う時間を設定しているため、多様な見方で思考する力がついてきているのだと考えられます。
- 基礎基本の定着を図るために、小单元ごとの小テストや、新しい単元に入る際の発問などで、既習事項の確認を行っています。

### 今後の具体的な取組について

- 基礎的な知識の定着の見直しが必要と考えます。  
4領域の知識が定着していくよう、他領域の指導の際にも、関連性を伝えることで、既習内容を確認しながら指導します。
- 天気記号や化学式など基礎・基本の定着を目指すため、日常生活と科学が関連した資料を読み取るなどして習得を目指します。



# 生徒質問紙の結果より

## 学習について

数値の単位は%、( )内の数値は全国平均

《よかった所》

### ○学習時間が確保されています。

「学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日どれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)」の質問では「1時間以上2時間未満」35.5(34.2)、「2時間以上3時間未満」37.4(25.9)「3時間以上」5.2(10.5)、計78.1(70.6)で全国比プラス12.8ポイントでした。

### ○文章にふれている時間が長いです。

「学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日どれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」では、「30分以上1時間未満」20.0(16.1)、「1時間以上2時間未満」12.9(8.7)、「2時間以上」7.7(6.1)、計40.6(30.9)で全国比プラス9.7ポイントでした。

《課題と思われる所》

### ○計画を立てて家庭学習をしましょう。

「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」では、「あまりしていない」43.2(34.8)「全くしていない」18.1(13.0)計61.3(47.8)で全国比プラス13.5ポイントとなっています。

計画を立てることは自分のやるべきことを整理することができたり、見通しを立てたりすることができます。

## 生活について

《よかった所》

### ○自己肯定感が高い傾向にあります。

「自分にはよいところがありますか」の質問には「当てはまる」48.4(33.7)「どちらかといえば、当てはまる」44.5(45.1)計92.9(78.8)で全国比プラス14.1ポイントでした。

### ○規範意識が高いです。

「学校の規則を守っていますか」では「当てはまる」71.0(63.4)「どちらかといえば当てはまる」25.8(31.7)、計96.8(95.1)で全国比プラス1.7ポイントでした。

《課題と思われる所》

### ○地域や社会に関心が薄いことが見られます。

「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」では、「当てはまる」12.3(20.0)、「どちらかといえば当てはまる」38.7(39.3)計51(59.3)で全国比マイナス8.3ポイントでした。

また「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」では「当てはまる」5.2(10.6)、「どちらかといえば当てはまる」20.1(28.1)計25.3(38.7)で全国比マイナス13.4ポイントとなっています。

最近の自然災害等においても地域と関わりや絆が大切であることが再認識されています。

地域や社会の一員であることを自覚し、日ごろから積極的に地域や社会に関わるための第一歩として、地域の行事などにも積極的に参加させてみてはいかがでしょうか。

## これまでの取組から

- 学校全体の取組である『海西中の心』（「挨拶」「時間」「約束」「思いやり」）を生徒に浸透させています。その結果、生活面・学習面に意欲的に取り組むなど、成果が現れていると考えます。
- 各教科の中でグループワークを通して言語活動を取り入れています。活発な活動により、学習内容の理解や規範意識の定着につながっていると考えます。

## 今後の具体的な取組について

- 授業の展開の中で、グループワークを通して言語活動を充実し授業を展開します。また終末には学習の目標やねらいに即した振り返りの場面を設定していきます。
- 生活習慣については道徳、学級活動、保健便り等で重要性の啓発に努めるとともに、保護者との連携を図り、更なる意識の共有を図ります。

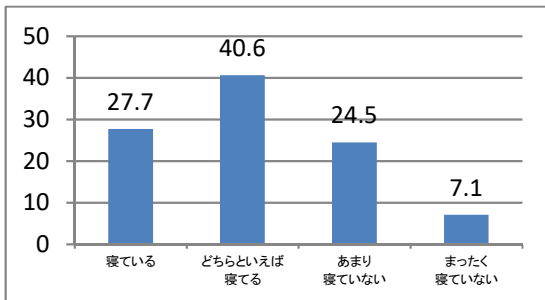
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

## 1 生活のリズムを整えましょう。

同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きてリズムを一定にし、睡眠時間を確保しましょう。

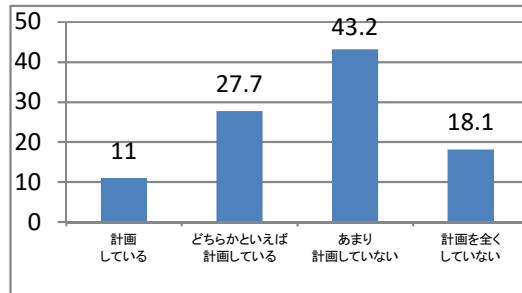
### 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか



## 2 計画を立てるようにしましょう。

計画は、自分が何をすべきか整理できます。PDCAサイクルの原点です。計画を立てるところから始めましょう。

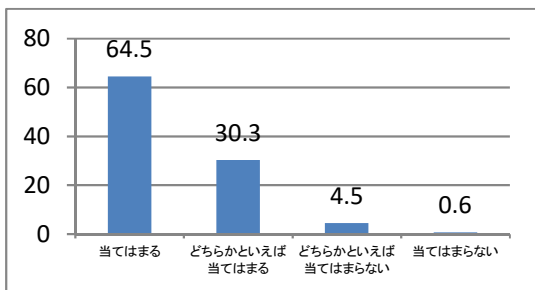
### 家で自分で計画立てて勉強していますか



## 3 人の役に立つにはどうすればよいか考え行動しましょう。

ご家庭で人の役に立つにはどのようなことがあるのか等について話す機会を設けましょう。

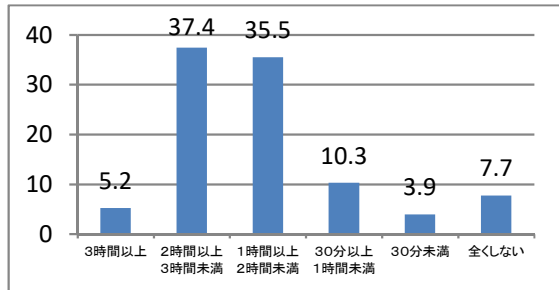
### 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



## 4 家庭で過ごす時間の管理を大切にしましょう。

気分次第で時間を使うのではなく、時間の目安をもって過ごしましょう。

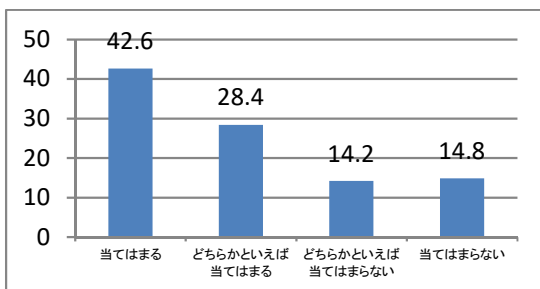
### 普段、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか



## 5 将来の夢や目標について語り合いましょう。

将来の夢や目標を語り、語り合える人になって、互いを認め、励ましあう雰囲気を大切にしましょう。

### 将来の夢や目標を持っていますか



## 6 地域や社会に関心をもちましょう。

ご家庭でも地域のことやこれからの社会等について話しをする機会を増やしましょう。

### 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

